

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 すかいらく							
代表者名	氏名	谷 真	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	東京都 武蔵野市 西久保 1-25-8							
主たる事業の分類	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業						
	中分類	76 飲食店						
主たる事業の概要	事業内容：フードサービス事業全般（ガスト・バーミヤン・藍屋・夢庵・ジョナサン等のファミリーレストランおよびセントラルキッチン等の運営等） 従業員数（全社）：正社員 4,335名 資本金：1億円							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	2980	k1	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	0	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	すかいらく本部 第3オフィス 1F 東京都武蔵野市西久保1-25-8 10時～14時
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

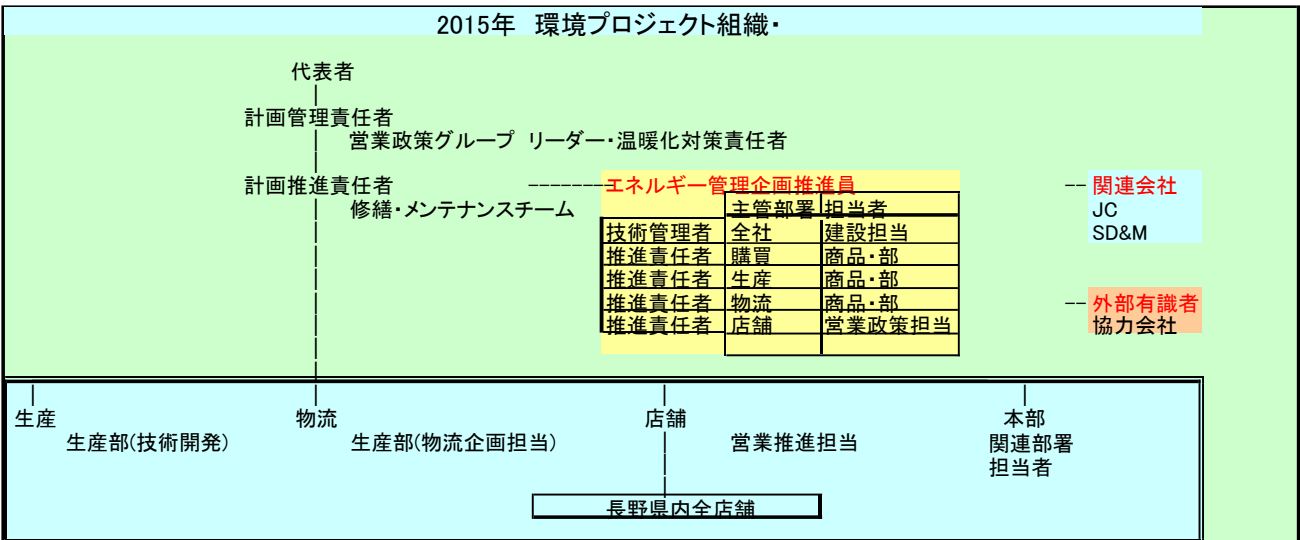
(当社の環境憲章から抜粋)

1. 取り組み方針
”大量生産・大量消費・大量廃棄型”の経済社会から脱却し、一人ひとりの豊かさの追求と自然環境への感謝の気持ちを失わず、原材料の調達から商品提供、廃棄まで”いつも安心・いつも安全”、”無駄の排除”を实践し、ゼロミッションを目指します。

2. 目標
ゼロエミッションに向けた取り組みとして、省エネルギー分野では、「売上高あたりのエネルギー消費量を原単位として、毎年1%の削減」を図ります。

長野県内店舗については、上記の方針を受けて、対策を実施する。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	6,804	t-CO ₂	売上高	4,748	単位	百万円	
25年度	調整後排出量	5,500	t-CO ₂	基準原単位	1.43	t-CO ₂ /	百万円	
目標年度	目標排出量	6,580	t-CO ₂	目標原単位	1.40	t-CO ₂ /	百万円	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	目標削減率	3.29	%	目標削減率	2.09	%		
目標設定に関する説明	当社環境憲章にて「省エネルギーの推進としては、2008年の年間売上高あたりのエネルギー消費量を原単位として、毎年1%の削減を図る」と目標設定した。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	6,573	t-CO ₂	売上高	4,742.00	単位	百万円	
	調整後排出量	6,540	t-CO ₂	原単位	1.39	t-CO ₂ /	百万円	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
26年度	削減率	3.39	%	削減率	2.79	%		
排出量等の増減理由	店舗でのエアコン・給湯の適正使用、クールビズの徹底より店舗での省エネが進んだ。また、機器の入れ替えによる、高効率機器の選定などにより2.79%の削減となった。							
第二年度	排出量	6,800	t-CO ₂	売上高	4,892.00	単位	百万円	
	調整後排出量	6,775	t-CO ₂	原単位	1.39	t-CO ₂ /	百万円	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
27年度	削減率	0.05	%	削減率	2.79	%		
排出量等の増減理由	店舗でのエアコン、冷凍冷蔵庫、調理器具などの簡易点検を毎日行い、効率を落とさないようにした。また、2か月に1度、詳細な点検、メンテナンスを行った。エアコンの設定温度の管理、閑散時の各機器OFFにも取り組んだ。店内照明のLED化をさらに進めた。基準年度より2.79%の削減となった。							
第三年度	排出量	6,237	t-CO ₂	売上高	4,766.00	単位	百万円	
	調整後排出量	6,204	t-CO ₂	原単位	1.31	t-CO ₂ /	百万円	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
28年度	削減率	8.33	%	削減率	8.39	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	県内6店舗で空調機の設備更新を行った。全店を対象に”もったいない”運動を展開。設定温度、点灯時間、on/off等を再確認した。基準年度より8.3%の削減となった。							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110302 定期的な記録 計測	26	0	26	0
2	エネ起	130101 設定温度 湿度の適正化	26	20	26	20
3	エネ起	140101 給湯温度設定	26	10	26	10
4	エネ起	140203 節水コマ 節水シャワーヘッド	26	5	26	5
5	エネ起	140303 扉の開閉管理	27	10	27	5
6	エネ起	140303 ショーケースの管理	27	5	27	5
7	エネ起	150201 照明器具 ランプの適正な選択	28	5	27	10
8	エネ起	160202 窓の断熱性 機密性	28	5	28	5
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	1304		33	25	33
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	49	6,804	49	6,573	50	6,800	48	6,237
合計	49	6,804	49	6,573	50	6,800	48	6,237

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	0	0	0	0
次世代車導入割合	0	0	0	0

様式1号
(総括票)

14 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	なし

15 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	本部従業員のマイカー通勤禁止 (26年度～)
公共交通機関の利用促進	なし
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	ブランドごとの物流からクロスブランド物流への移行

16 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

17 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	本部従業員のクールビズ通年化
第一年度実績	省エネ啓蒙活動を本部・店舗で推進する。クールビズの徹底、エアコンの適正な温度設定、給湯温度の設定などに取り組む。また、機器の老朽化にともなう、入れ替えについては高省エネ機器を選定し、高売上店舗より順次導入している。
第二年度実績	設備機器の点検・メンテナンスに取り組んだ。また、照明のLED化を進めた。
第三年度実績	機器の老朽化にともなう入れ替えについては高省エネ機器を選定し、県内6店舗の設備更新を行った。

18 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取り組み	店舗窓外周 緑のカーテン実施	
その他		